

いちほまれ

いちほまれ



【分けつ確保と中期除草の検討】

JA福井県



田植え後は活着も進みましたが、5月末の低温と日照不足により稲の生育は遅延気味です。また一部、深水のところでは生育不良が見受けられますので稲に活力を取り戻す為、軽く田干しを行うことや浅水管理により分けつを促進させ、丈夫な株を作しましょう。6月の気象概況は期間の前半、短い周期で変動が大きく、期間の後半は平年と同様に曇りや雨の日が多くなる見込みです。もうすぐ梅雨入りの時期を迎えますのでこれからの天気まわりを十分に確認しながら栽培管理に努めましょう。

1. JA生育調査状況(6月6日現在)

①JA全体

年度	栽培区分	平均移植日	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉色
R7	移植	5月18日	22.6	109.0	3.3
過去平均		5月17日	26.1	165.0	3.8

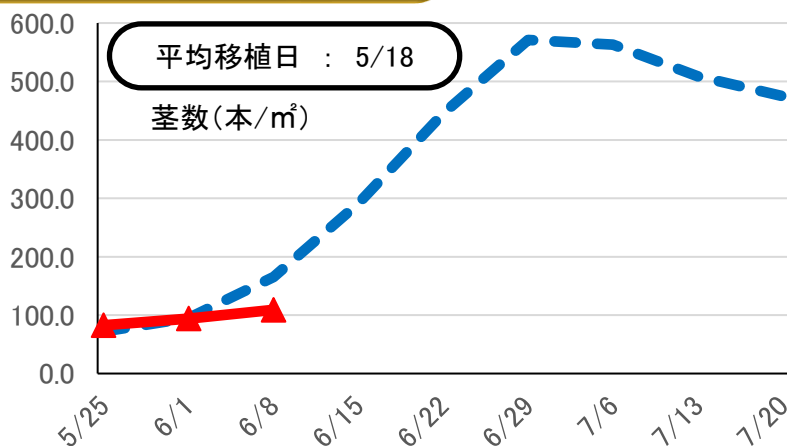
【平年比】

■草丈: 短い ■茎数: 少ない ■葉色: 薄い

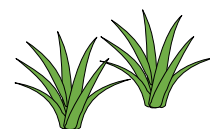
②各地区の状況

栽培区分	地区	平均移植日	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉色
移植	福井	5/18	20.2	98.0	3.4
	坂井	5/17	26.2	103.0	3.5
	奥越	5/15	21.5	146.0	3.3
	丹南	5/24	20.7	93.0	2.9
	嶺南	5/16	24.5	105.1	3.6

2. 茎数の推移について



いちほまれの生育状況は、5月下旬の気温が平年より低かった日の影響もあり、生育は遅延気味です。浅水管理を徹底し、中干しまで茎数確保に努めましょう。



- 浅水管理で中干しまで分けつ促進!!
- 雑草が発生している圃場は適切な薬剤選定と適期散布!!

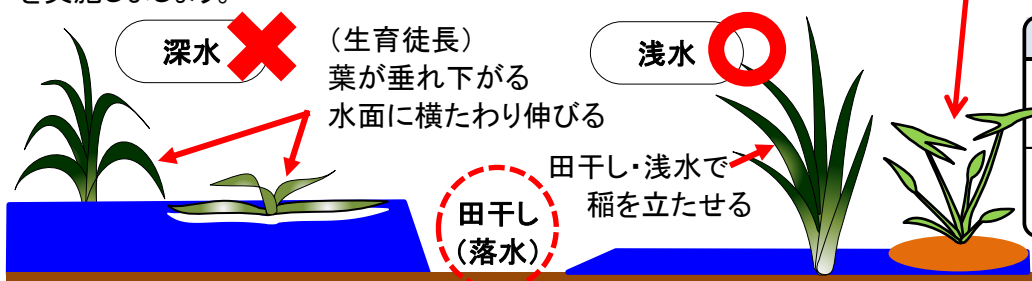
3. いちほまれの今後の管理について

【生育徒長の抑制】

5月下旬の日照不足と深水管理により稲の生育徒長が見られます。浅水管理や田干しを実施しましょう。

□ 中干しまでは浅水管理で分けつを促しましょう。

□ 浅水管理で、田面が露出すると雑草が発生します。例年、雑草が多発する圃場では、こまめに観察し、早期の対応を行いましょう。



雑草区分	資材名	形状
ヒエ	クリンチャー	粒・EW
	中後期剤	粒
広葉	バサグラン	粒・液